

衛星放送の未来像に関するワーキンググループ (第10回) 資料

令和2年9月30日
事務局

第7回（令和2年4月）において提示された論点（案）

(1) 衛星放送事業の現状と課題

（衛星放送をめぐる市場環境の変化と影響 等）

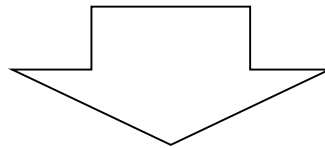
(2) 新4K8K衛星放送の普及

（受信環境整備の現状と課題、有効な周知のあり方 等）

第8回第9回に
おいて議論

(3) 周波数の有効利用の推進

（右旋及び左旋帯域利用の現状と課題、今後の有効利用に向けた方策 等）



第10回以降、

1. 周波数の有効利用の推進
2. 衛星放送事業をめぐる経営環境に関して議論していただきたい。

1. 周波数の有効利用の推進

経緯

- BS右旋について、既存事業者が自主返上を申し出た2K放送用の周波数帯域を活用し、**新規参入等**（注：既存事業者の高画質化も含む。）**に充てるべく、令和元（2019）年3月13日～5月13日の間、公募を実施**※1。

※1：併せて、BS・CS左旋の4K放送についても公募を実施したが、申請の提出はなかった。

認定

- 公募及び審査を経て、**令和元年11月29日に3者の新規参入（よしもとBS株式会社※2、株式会社ジャパネットメディアクリエーション、BS松竹東急株式会社）等を認定。**

※2：認定当時は株式会社カワイアン・ティービー。

帯域再編

- 総務省が主催する「BS右旋帯域再編検討会」における検討を経て、**令和元年11月に帯域再編プランを決定。**
- 令和2（2020）年2月に（一社）衛星放送協会を中心とする、関係団体・事業者から構成される「帯域再編推進運営委員会」を設置。本委員会において、スケジュールの進捗管理及び関係者間の調整等を実施。
- **令和2年4月にテストセンターを立上げ、受信機テスト等を開始。**今後、段階的に、スロット縮減及びトラポン移動を実施予定。

今後のスケジュール

- **令和3（2021）年末を目途に放送開始予定。**

(参考)BS右旋における新規参入等事業者

新規参入の3者（3番組）

申請者	番組名	主な出資者	有料/ 無料	主な編成内容
よしもとBS株式会社	よしもとチャンネル(仮称)	吉本興業株式会社 100%	一部 有料	吉本興業所属の人気タレント等を起用したバラエティ、情報、教養番組など。
株式会社ジャパネットメディアクリエーション	BS Japanet Next	株式会社ジャパネットホールディングス 100%	無料	スポーツ&エンタメ、健康、地域創生番組等。スマホアプリと連動して商品購入を促す。
BS松竹東急株式会社	BS松竹東急(仮称)	松竹ブロードキャスティング株式会社 60% 東急株式会社 40%	無料	松竹グループ製作の映画・アニメ・ドラマや、歌舞伎・落語・オペラといった舞台作品、アイドル・eスポーツ等の趣味番組など。

既存番組の高度化を行う1者（1番組）

申請者	番組名	主な出資者	有料/ 無料	主な編成内容
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社	ディズニー・チャンネル	ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社 100%	有料	ディズニーアニメ、映画、ディズニーランドの最新アトラクションを紹介する番組など。

(1) 周波数使用基準の適用

- 令和元（2019）年6月に公布された改正放送法により、衛星基幹放送の業務の認定及び認定更新において、周波数の有効活用の観点から、「周波数使用基準(省令)」への適合性を審査要件として追加。
- 周波数使用基準では、認定又は認定更新において、伝送方式及びテレビジョン放送の種類（SD、HD、フルHD、4K、8K）ごとに申請可能なスロットの数の上限を定めており、今後の認定更新の際、基準に適合しない場合にはスロットが返上される見込み。

伝送方式及びテレビジョン放送の種類		スロット数の上限	
		BS	CS
広帯域伝送方式	標準テレビジョン放送（SD）	6	6
	高精細度テレビジョン放送（HD）	12	12
	高精細度テレビジョン放送（フルHD）	20	-
高度広帯域伝送方式	超高精細度テレビジョン放送（4K）	40	60
	超高精細度テレビジョン放送（8K）	120	-

(2) NHK中期経営計画（案）

- 令和2（2020）年8月4日、NHKは2021年度から2023年度における中期経営計画案を公表し、BS右旋の3波を2波に整理・削減する意向を表明（将来的な1波化にも言及）。

■NHK経営計画（2021-2023年度）（案）（抜粋）

◎衛星波の整理・削減を段階的に実施し、将来的には右旋の1波化に向けて検討を進めます。

○右旋の3波（BS1・BSP・BS4K）は、コンテンツをより効果的に届ける再設計を計画期間内に行い、公共メディアとしての価値を維持しつつ、2波（4K・2K）への整理・削減を実施します。（略）

今後さらに複数のスロットが右旋帯域で空く見込み

4K・8K放送の伝送路に関する考え方

基幹放送普及計画において、衛星放送の伝送路は、以下の電波の周波数を使用することを基本として規定。

HD(2K)又はSD	右旋
4K・8K	左旋

○基幹放送普及計画(昭和63年郵政省告示第660号)(抄)

第1 1(1)
 イ 衛星基幹放送
 衛星基幹放送については、高精細度テレビジョン放送又は標準テレビジョン放送にあつては右旋円偏波(略)の電波の周波数、超高精細度テレビジョン放送にあつては左旋円偏波(略)の電波の周波数を使用して放送を行うことを基本として、放送に関する需要の動向を勘案するとともに、地上基幹放送及び有線一般放送との連携に留意しつつ、その普及を図るとともに次のとおりとする。

BS・CS左旋のチャンネル配列図

○BS放送 (左旋のチャンネル配列図)

令和2年7月1日現在

事業名	2ch (11.74666GHz)	4ch (11.78502GHz)	6ch (11.82338GHz)	8ch (11.86174GHz)		
番組	未使用	未使用	未使用	SCサテライト放送	QVC サテライト	東北新社メディアサービス
チャンネル				ショッピングチャンネル 4K	4K QVC	ザ・シネマ 4K
チャンネル				ショッピング	ショッピング	映画
スロット数	(120)	(120)	(120)	(40)	(40)	(40)
事業名	10ch (11.90010GHz)	12ch (11.93846GHz)		14ch (11.97682GHz)	16ch (12.01518GHz)	
番組	未使用	WOWOW ※ WOWOW		日本放送協会	未使用	
チャンネル		総合娯楽		NHK BS8K		
スロット数	(120)	(40)	(40)	(120)	(120)	
事業名	18ch (12.05354GHz)	20ch (12.09190GHz)	22ch (12.13026GHz)			
番組	未使用	未使用	未使用			
チャンネル						
スロット数	(120)	(120)	(120)			

※ 令和3年3月1日より、放送開始予定。

○東経110度CS放送 (左旋のチャンネル配列図)

令和2年7月1日現在

事業名	ND25 (12.231GHz)	ND1 (12.271GHz)	ND3 (12.311GHz)	ND5 (12.351GHz)	ND7 (12.391GHz)
番組	未使用	未使用	未使用	未使用	未使用
チャンネル					
スロット数	(120)	(120)	(120)	(120)	(120)
事業名	ND9 (12.431GHz)	ND11 (12.471GHz)	ND13 (12.511GHz)	ND15 (12.551GHz)	ND17 (12.591GHz)
番組	スカパー・エンターテイメント	スカパー・エンターテイメント	未使用	未使用	未使用
チャンネル	J SPORTS 1 (4K)	J SPORTS 2 (4K)	J SPORTS 3 (4K)	J SPORTS 4 (4K)	
チャンネル	スポーツ	スポーツ	スポーツ	スポーツ	
スロット数	(60)	(60)	(60)	(60)	(120)
事業名	ND19 (12.631GHz)	ND21 (12.671GHz)	ND23 (12.711GHz)		
番組	スカパー・エンターテイメント	スカパー・エンターテイメント	スカパー・エンターテイメント		
チャンネル	スターチャンネル 4K	スカチャン1 4K	スカチャン2 4K		
チャンネル	映画	総合娯楽	総合娯楽		
チャンネル			日本映画+時代劇 4K		
チャンネル			総合娯楽		
スロット数	(60)	(60)	(60)	(60)	

現在、左旋帯域中、放送が行われている帯域は限定的

2. 衛星放送事業をめぐる経営環境

有料放送モデル
①

有料放送モデル
②

広告放送モデル

主な規律

放送番組の
調達・編成・送出

衛星基幹
放送事業者
(例：WOWOW)

衛星基幹
放送事業者
(例：スター
チャンネル)

衛星基幹
放送事業者
(例：キー局
系民放)

■ 衛星基幹放送事業者

- **放送番組の編集（放送法第4条）**
政治的に公平であること、報道は事実をまげないこと等とされている
- **番組基準の策定、公表等（放送法第5条）**
放送番組の基準を定め、これに従って編集することとされている
- **番組審議会の設置等（放送法第6条）**
放送番組の適正を図るため放送番組審議会を置くものとされている
- **設備の維持義務（放送法第111条）**
放送設備が技術基準に適合するように維持しなければならない

有料放送の管理
(取次ぎ・媒介・代理、
限定受信)

有料放送
管理事業者

{スカパー J S A T}

■ 有料放送管理事業者

- **業務の届出（放送法第152条）**
業務の概要、有料放送事業者に関する事項等を届け出なければならない
- **実施方針の策定・公表（放送法第155条）**
業務の実施方針の策定・公表その他の適正かつ確実な運営を確保するための措置を講じなければならない。

インフラの提供
(無線局設備)

基幹放送局提供事業者

{ B S : 放送衛星システム (B - S A T)
C S : スカパー J S A T }

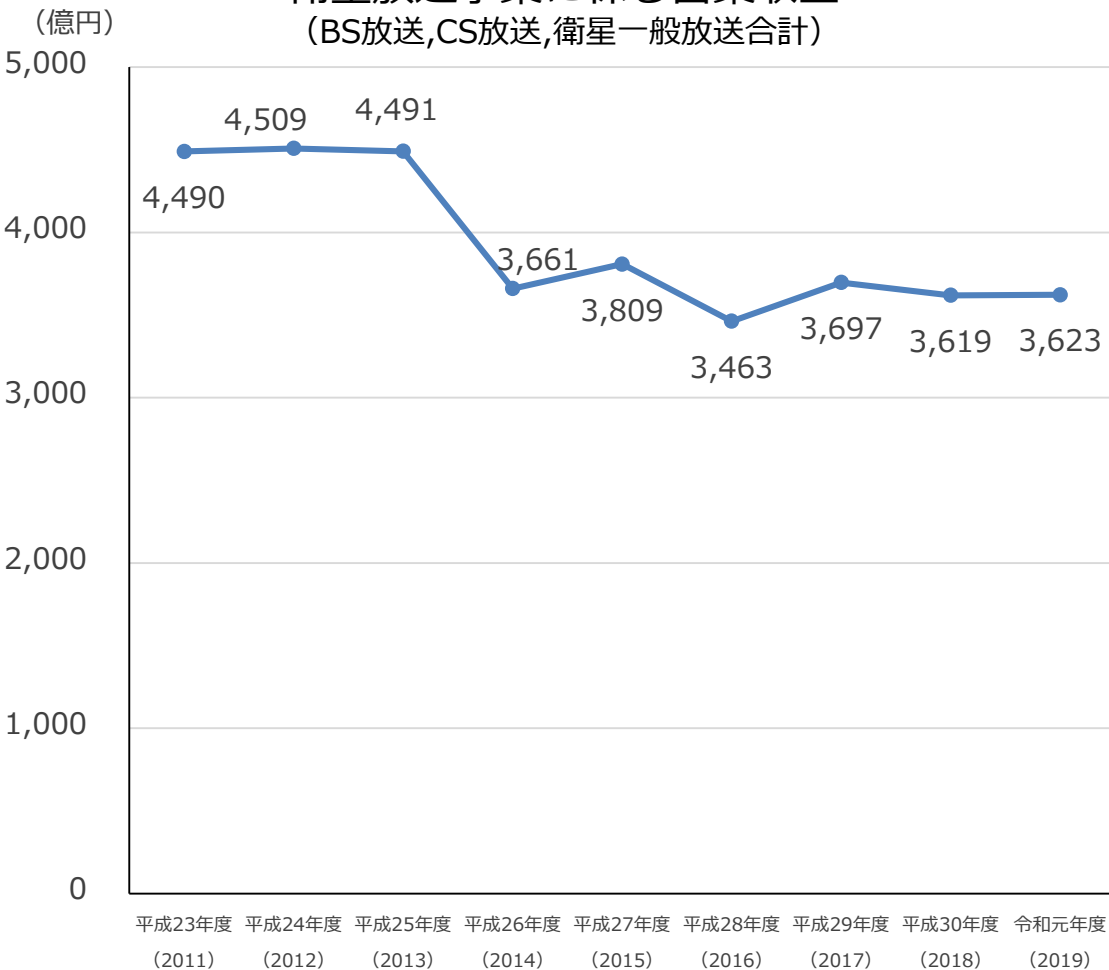
■ 基幹放送局提供事業者

- **設備提供義務（放送法第117条）**
基幹放送事業者からの申込みは、正当な理由がない限り拒否できないこととされている。
- **料金・提供条件の届出（放送法第118条）**
料金その他の提供条件を定め、事前に届け出ることとされている。
- **設備の維持（放送法第121条）**
放送局設備を技術基準に適合するよう維持しなければならない。

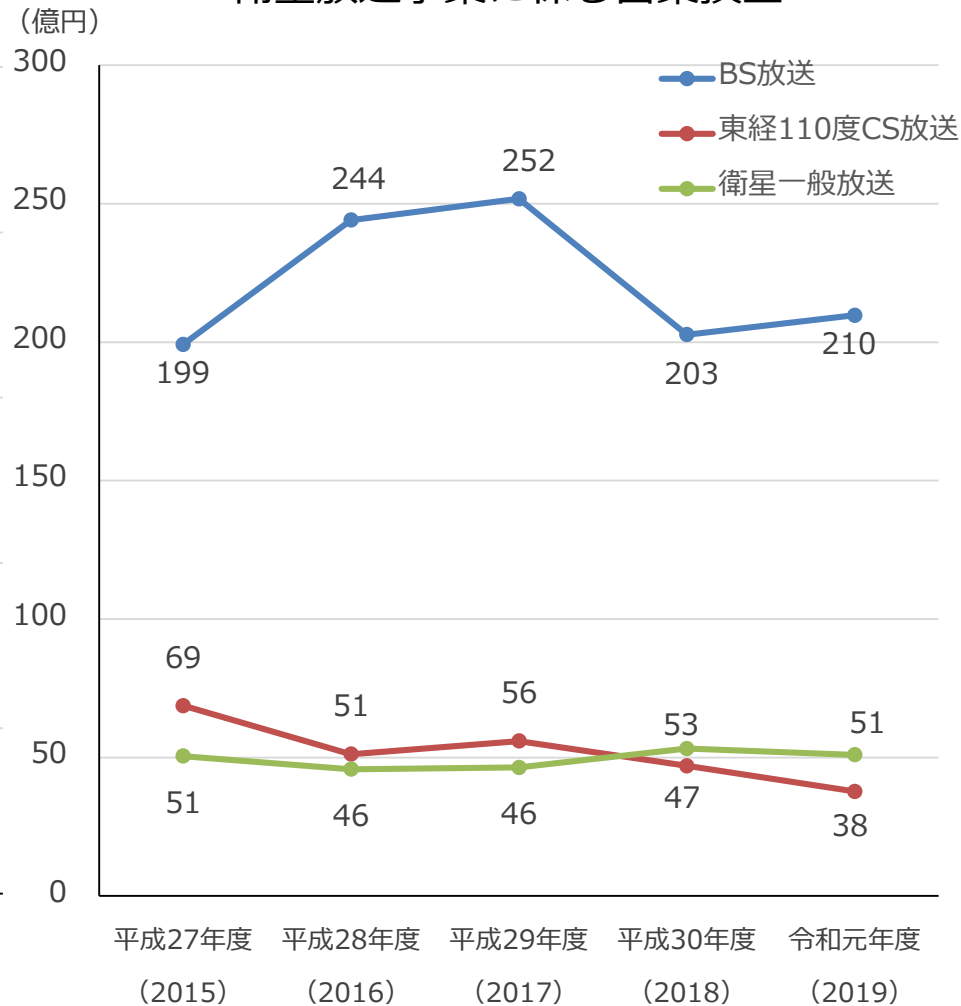
衛星放送事業に係る営業収益及び営業損益

- 衛星放送事業に係る営業収益は短期的には概ね横ばいの傾向だが、長期的には減少傾向。
- 衛星放送事業に係る営業損益については、変動はあるものの概ね横ばい。

衛星放送事業に係る営業収益 (BS放送,CS放送,衛星一般放送合計)

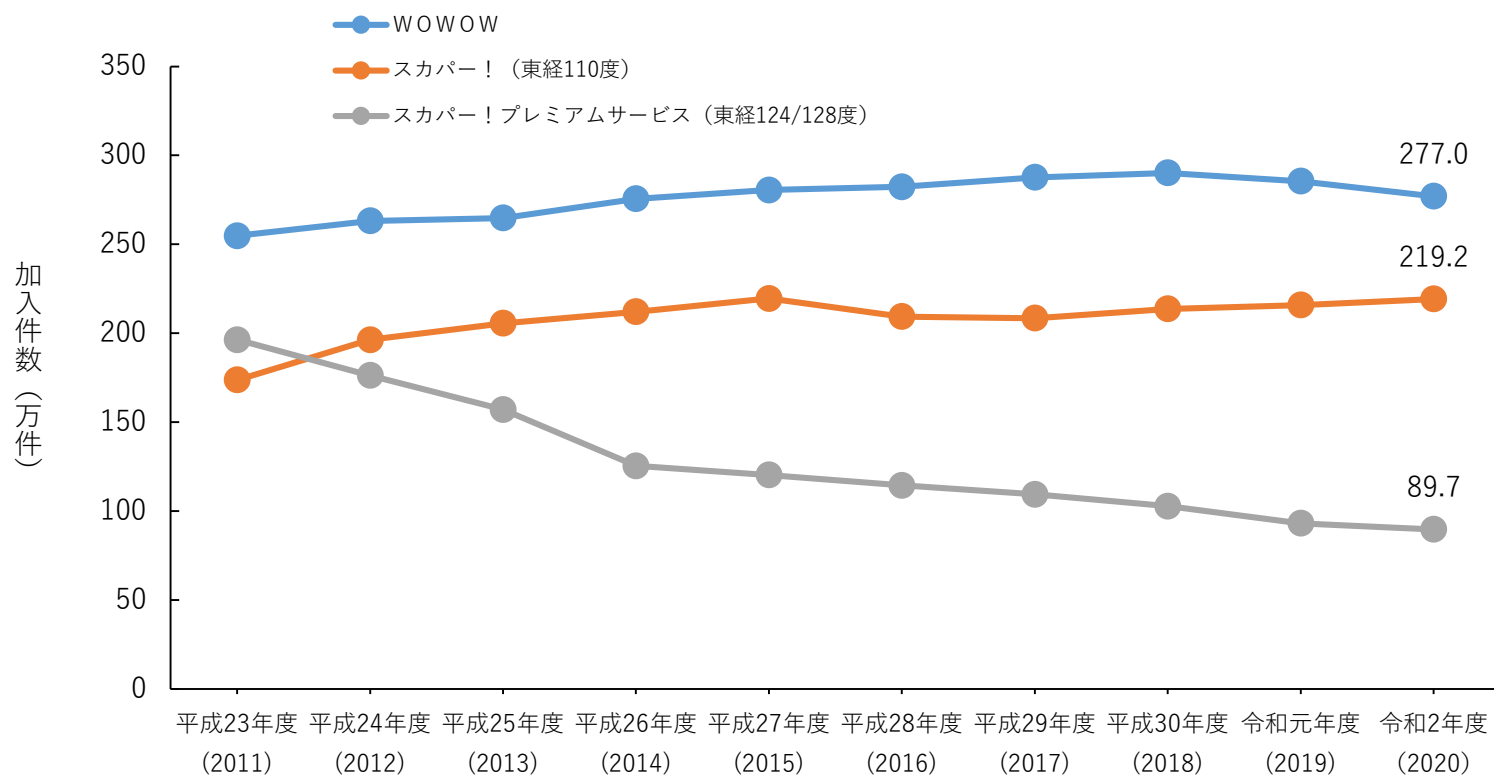


衛星放送事業に係る営業損益



衛星放送の加入件数

- 衛星基幹放送（WOWOW及びスカパー！）の有料契約件数は概ね横ばい傾向であるものの、衛星一般放送（スカパー！プレミアムサービス）の有料契約件数は減少している。
- 直近の状況としては、新型コロナウイルスの感染拡大によるスポーツイベントの中止等の影響を受け、加入件数の減少が見られる。



※ 令和2年の数字については、8月末時点。

（出典）（株）WOWOW「加入件数推移」 (<https://corporate.wowow.co.jp/ir/finance/subscriptions/>)

スカパーJSAT（株）「年度別加入件数推移」 (https://www.skyperfectjsat.space/ir/financial_data/shift/)

スカパーJSAT（株）「月次加入件数」 (https://www.skyperfectjsat.space/ir/financial_data/month_count/)

有料放送管理事業者

スカパー J S A T 株式会社

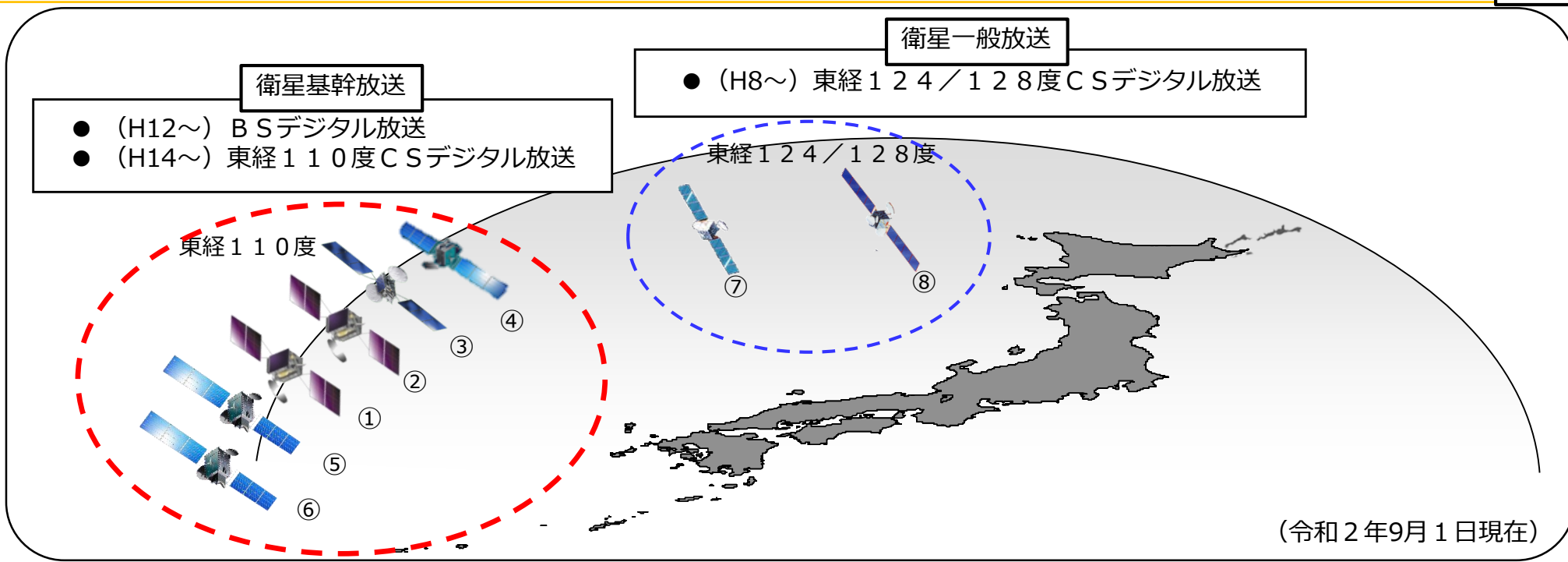
有料放送管理業務

- ①取次ぎ、媒介、代理：
有料放送事業者に代わり、契約事務、料金請求等する業務
- ②限定受信：
契約者に限定して放送番組の視聴を可能とする業務

管理事業者数

29者

放送事業者名		
(株)スカパー・エンターテイメント	(一財)グリーン・チャンネル	松竹ブロードキャスティング(株)
(株)インタラクティブィ	(株)アニマックスブロードキャスト・ジャパン	(株)囲碁将棋チャンネル
(株)サテライト・サービス	(株)ジェイ・スポーツ	(株)GAORA
(株)CS-TBS	(株)WOWOWプラス	(株)スカイA
(株)シーエス・ワンテン	日本映画放送(株)	(株)AXNエンターテインメント
(株)CS日本	ブロードキャスト・サテライト・ディズニー(株)	(株)東北新社メディアサービス
(株)宝塚クリエイティブアーツ	(株)釣りビジョン	名古屋テレビネクスT(株)
インターローカルメディア(株)	SCサテライト放送(株)	(株)WOWOW
(株)スター・チャンネル	東映衛星放送(株)	(株)第一興商
(株)キッズステーション	(株)エムオン・エンターテインメント	



運用中・運用開始予定の主な衛星

	衛星名	軌道位置	国際周波数割当上の位置づけ	放送種別	運用開始	管理会社
①	BSAT-3a	東経110度	放送衛星業務	衛星基幹放送	平成19年10月	(株)放送衛星システム
②	BSAT-3b	東経110度	放送衛星業務	衛星基幹放送	平成23年7月	(株)放送衛星システム
③	BSAT-3c /JCSAT-110R	東経110度	放送衛星業務 固定衛星業務 (宇宙から地球)	衛星基幹放送	平成23年9月	(株)放送衛星システム スカパーJSAT(株)
④	N-SAT-110 (JCSAT-110A)	東経110度	固定衛星業務 (宇宙から地球)	衛星基幹放送	平成29年4月	スカパーJSAT(株)
⑤	BSAT-4a	東経110度	放送衛星業務	衛星基幹放送	平成30年12月	(株)放送衛星システム
⑥	BSAT-4b	東経110度	放送衛星業務	衛星基幹放送	令和2年中 (令和2年8月打上げ済)	(株)放送衛星システム
⑦	JCSAT-4B	東経124度	固定衛星業務 (宇宙から地球)	衛星一般放送	平成24年8月	スカパーJSAT(株)
⑧	JCSAT-3A	東経128度	固定衛星業務 (宇宙から地球)	衛星一般放送	平成19年3月	スカパーJSAT(株)

3. 今後の検討課題(案)

(1) 周波数の有効利用の推進

○ BS右旋における空き帯域の活用方法

- ・ 現在、一定帯域が空いており、将来的には更なる空き帯域の発生が見込まれる。かかる空き帯域について、2Kと4K放送のいずれに割り当てるべきか。

○ BS/CS左旋における未使用帯域の活用方法

- ・ 現在、4K放送に活用されている帯域は限定されている。今後、新たな活用方法が考えられるか。

(参考) 衛星放送における周波数の活用方法については、「放送を巡る諸課題に関する検討会」の下に設置されている「災害時の放送の確保に関する分科会」が令和2年7月に取りまとめた報告書において、「災害時における広域な情報の提供や障害の早期復旧といった課題に対し、広域性に優れ、危険地域での復旧作業を伴うことなく放送継続可能な衛星放送の活用を検討することが必要である。」との指摘がなされている。

(2) 衛星放送事業をめぐる経営環境の変化と課題

○ 市場環境の変化と対応方策

- ・ インターネット動画配信サービスの伸長や新型コロナウイルスの拡大により、衛星放送市場はどのような影響を受けているか。

○ 環境変化への対応方策

- ・ 経営環境が変化する中で、関係事業者はどのような対応を求められているか。